

## 用語説明

### エコシナリオプランニング (P5\*1)

未来においての地球環境や社会動向がどうなるのか、その未来がなぜ起こるのか、その推進要因について議論し因果関係を明確にしておくことで、複数の未来環境についてストーリー化を行う手法。直感的に社会構造の変化が理解でき先行的かつ柔軟な対応が可能となる。

### グリーン調達 (P7\*1)

環境への負荷が少ない部品・部材を優先的に調達すること。

### ISO14001 (P11\*1)

International Organization for Standardization (国際標準化機構) が定めた環境マネジメントシステム (EMS: Environmental Management System) に関する規格。環境に配慮し、環境負荷を継続的に減らすシステムを構築した組織に認証を与えるというもの。

### 環境負荷改善率 (EI値: Environmental Improvement値) (P14\*1)

環境保全に関わる費用に対する環境負荷低減効果 (トン-CO<sub>2</sub>/億円)、環境保全に関わる費用1億円あたり、どれだけ環境負荷量 (CO<sub>2</sub>) を低減させたかを示す指標。時系列およびセグメント間での評価を容易にし、環境保全活動の効率を判断することができる。

### 環境負荷利用効率 (EE値: Environmental Efficiency値) (P14\*2)

環境負荷量当たりの売上高 (億円/トン-CO<sub>2</sub>)、環境負荷量に対して得られる付加価値 (売上高) を示す指標。事業活動における直接的な環境負荷の利用効率を判断することができる (トン-CO<sub>2</sub>あたりの環境負荷を与えて、どれだけ売上高を得たか)。

### グリーン購入法 (P19\*1)

正式名称「国等の環境物品等の調達の推進等に関する法律」。国の機関や都道府県・市区町村などの地方公共団体、事業者、国民、製造メーカーのそれぞれが、環境負荷の小さい環境物品など (エコマーク商品など) の調達・購入を推進することで、持続可能な社会の構築をめざす。2001年4月より施行。

### LCA (P21\*1)

Life Cycle Assessment (ライフサイクルアセスメント) の略。製品の一生を通じて、環境にどのような負荷をどの程度かけているかを定量的に評価する方法。

### 触媒 (P23\*1)

それ自身が消費されることなく、少量で、熱力学的に可能な反応の速度、選択性、立体規則性を制御する物質のこと。

### 拡大生産者責任 (EPR) (P25\*1)

EPRとは、Extended Producer Responsibilityの略で、生産者の責任を、製品の製造、使用、流通段階だけでなく、製品の廃棄処理・リサイクル段階まで拡大する考え方のこと。2000年6月に施行された「循環型社会形成推進基本法」に明記されている。

### 資源再利用率 (P25\*2)

社団法人電子情報技術産業協会で示された算定方法に基く、使用済み製品の処理量に対する再生部品・再生資源の重量比率のこと。

### インバータコンプレッサー (P28\*1)

負荷に応じての回転数を制御できるコンプレッサー。圧縮空気の使用量に応じて回転数を自動制御し、無駄な動力消費をなくして必要最低限の圧力を常時安定供給することを可能にする機器。

### ESCO (P28\*2)

Energy Service Companyの略で、省エネルギー改善に必要な技術、設備、人材、資金などすべてを包括的に提供し、その顧客の省エネルギーメリットの一部を報酬として受けとる事業のこと。第一次石油危機以降、アメリカで成長した省エネルギービジネスだが、我が国でも省エネルギー実現のための有効な手段として普及が期待されている。

### PRTR法 (P31\*2)

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」。企業などが化学物質の排出量および廃棄物としての移動量を行政に報告し、それを公表することにより化学物質・環境汚染物質による環境リスクの削減をはかる。2000年3月より施行。PRTRとはPollutant Release and Transfer Registerの略。

### 土壌汚染対策法案 (P33\*1)

近年、有害物質による土壌汚染が増えているため、環境省は市街地の工場や事業所の跡地について、土壌汚染の調査と浄化を土地の所有者に義務づける「土壌汚染対策法案」を第154通常国会 (会期: 2002年1月21日 ~ 6月29日) に提出、2003年1月の施行をめざしている。

### ダイオキシン類 (P33\*2)

2378TCDDを代表する猛毒の有機化合物の総称で、人工化合物の中では最も毒性が高く、発ガン性や催奇性を持つことが知られている。塩素の数や場所により毒性が異なる。

### e-Japan構想 (P36)

「我が国が2005年までに世界最先端のIT国家になる」という目標を掲げ、首相が本部長となるIT戦略会議が推進する、官民をあげたIT施策プログラム。高速・超高速インターネットの普及・推進、電子政府・電子自治体の着実な推進など、電子社会実現への取り組みが急ピッチで進んでいる。

### ビオトープ (P39\*1)

ドイツ語のBIO (生物) とTOP (場所) の合成語で、「生物の生息空間」を意味する。

### モーダルシフト (P41\*1)

環境保全 (CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>排出抑制など) や省エネルギーのため、貨物輸送をトラックから大量輸送のできる鉄道や海運などに移していくこと。